

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調整費

事業名 【新】「匠の国ぎふ」の技を支える道具展等開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-1111(内3149)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 25,000 千円 (前年度予算額： 一 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	25,000	0	0	0	0	0	0	0	25,000
決定額	24,400	11,936	0	0	0	0	0	0	12,464

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

「匠の国ぎふ」の伝統技術を次の世代へ継承していくには、伝統的技法を熟知した工芸職人・技術者等とそれらを支える「道具」の確保が喫緊の課題となっている。特に県内の職人が使用する手道具は県内に生産者がいないため県外から調達している。

その他県の道具産地においても、需要減による廃業や高齢化、後継者不足などにより「道具」の調達が困難になってきており、数年後には道具の供給が途絶える恐れがあるなど危機的な状況となっている。

(2) 事業内容

伝統的技法を支える「道具」の現状や課題、今後のあり方について考える機会を創出するため、令和6年度に開催される国民文化祭に合わせて「道具」に焦点をあてたイベントや展示を行う。

- ・道具製作の実演
- ・道具を使ったワークショップの実施
- ・「匠の国ぎふ」の技を支える「道具」の展示

(3) 県負担・補助率の考え方

本県の文化芸術資源の保存・継承のために必要な取組みとして、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
旅費	527	業務旅費
委託料	22,935	実演、ワークショップ、展示に係る業務委託
その他	1,538	消耗品、通信運搬費ほか
合計	25,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
施策編 3 (1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信

(2) 事業主体及びその妥当性

県内に残る伝統的建造物や伝統工芸に係る技術を確実に保存・伝承するため、それらを支える「道具」の現状や課題、今後のあり方について考える機会を創出するための事業であり、県が事業主体となることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の伝統技術を着実に保存・継承していくため、令和6年度に開催される国民文化祭において伝統的技法を支える「道具」に焦点をあてた製作実演やワークショップ、展示会を実施し、全国に発信していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

国民文化祭を機に県内の伝統技術を支える「道具」の伝承に向けた機運を醸成することを目的としているため指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	県内の伝統技術を確実に保存・継承していくため、それらを支える「道具」の現状や課題、今後のあり方について考える機会を創出することは重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	実施にあたっては、県関係課や市町村、関係団体等と連携し効率的に実施する。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 匠の技を支える「道具」の調達が困難になってきているためその対策が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の伝統的建造物を含む文化財や工芸品を確実に保存・継承していくために、道具の伝承及び安定需給、人材育成に向けて、長期的視野に立った取組が必要である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】